

# 防災や障害を理解

## 豊橋で夏休み親子教室

体験講座や座学

豊橋市障害者福祉会館「さくらピア」で21日、「2018さくらピア 夏休み親子防災教室」が開かれた。小学生を中心とした子どもとその保護者らが体験や座学を通して防災知識を深めた。

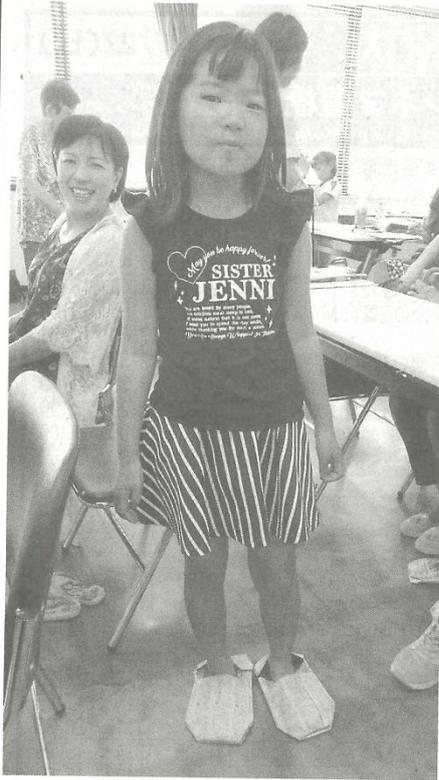
(田中博子)

夏休みを利用し、親子で地域の障害者理解を深め、防災について考える機会にしてみよう、と、2年前から実施。防災頭巾作りや視覚障害、聴覚

障害など毎年テーマを決めて学習している。今年からは幼児から中学生までの子どもと保護者ら計30人が参加した。

この日は、豊橋身体障

害者(児)福祉団体連合会「の折り紙クラブ」「花菖蒲」の高柳千博さんらを講師に「防災折り紙」と、豊橋市手をつなぐ育成会の鈴木佐和子さん、山本奈智子さんを講師に講義「知的障害について知ろう」を実施した。防災折り紙では、新聞紙を使って簡単にできる「スリッパ」や「座布団」作りに挑戦。講師の説明



新聞紙で作ったスリッパを履く参加児童=さくらピアで

を聞きながら、親子で教えあって新聞紙を折りたんだんで完成させていた。座学では鈴木さんらが「知的障害」について説明。参加者は障害を疑似体験することで、知的障害者への接し方など自身につけていた。

同市立牟呂小学校3年

新聞紙で座布団を作る親子ら=同



平成30年7月22日(日)

東愛知新聞